



プロジェクトマネジメント

令和7年3月13日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

一つの現実を構築するには、計画と行動でそれを実現できる。

これはプロジェクトマネジメントへの正しい理解である。それはそれら行動計画が、その現実を約束できなければ、不可能である。

詳細な分析は実現を可能とする。これが正しい計画の作成である。

計画は行動を伴わなければ唯一幻である。しかし行動を得るならばそれは可能なのである。

過程を得ることは、現実への正しい理解の結果である。

これらは人材がその能力を有することにおいてその能力に応じて現実が可能になるのである。

挑戦は、制限を超えることができるのである。それが独創性と創造性なのである。

理解は相対し、現実をなす。それが知性という現実が有する正しい可能性なのである。

優れた現実を与えるのは知識と理解なのである。それらがプロジェクトマネジメントを行うことが、その実現を最も優れたものとして与えることができるのである。

これらは正しい分析と行動を計画として行うとき、その実現が約束されるのである。

それらにおいて未熟さは失敗を生む。

企業経営は、正しい理解と分析において未来を行う必要性を有するのである。それらが正しい経営判断であり、それらマネジメントは結果を与えるのである。